

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童デイサービス つぼみ		2025年 10月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		○	訪問の際、教員等を使用していない。使用する機会がなかった。	今後も必要性に応じて、教員の検討と使用を行う。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準の職員数が配置されている。	引き続き、必要な人員配置を維持していく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に意見交換の場を設けているが、十分ではない。	より積極的に機会を作り、意見交換の場を設ける。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を用いて保護者の意向を確認する機会を会議内で設け、職員間でその内容を共有している。	今後も評価表も用い、定期的に意向等を把握及び業務改善するよう努める。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に会議の場を設け、意見交換を行っている。	引き続き、情報交換と情報共有が積極的に行われるよう努める。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	自己評価及び法人内研修の場において、定期的な評価と業務改善を行っているが、第三者の評価は受けていない。	今後については検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な法人内研修に参加している。外部開催の研修は、人的余裕が無い為、受講できないことが多いが、今年度は事業所が主幹の事例研究会を予定している。	法人内研修は今後も継続的に参加し、職員の資質向上を図る。外部研修についても、可能な限り積極的に参加していく。
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		支援計画の更新前には個別に聞き取りを行い、支援計画を作成している。	引き続き、より丁寧なアセスメントを行い、個々のニーズに合わせた支援の組み立てができるよう努める。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的に行う事業所内会議で、個々の子どもに対する支援の方向性を検討している。子どもに直接関わる職員の意見も交え、計画に反映させている。	今後も引き続き、職員間で共通理解が持てる場を設ける。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		担任の先生とお話を中心に、園さんの現状を積極的に汲み取り、現状把握に努めた上で計画の作成にあたっている。	今後も引き続き意向をお聞きしながら、支援計画の作成を行うよう努める。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的に行っている事業所内会議の場と書類の回覧等で情報の共有を行っている。	今後も引き続き職員間で支援計画を共有し、計画に沿った支援が行われるよう努める。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	標準化されたツールを用いた評価は行っていない。日々のインフォーマルなアセスメントについては、積極的に行っている。	現状を継続。個別的支援を中心に個々の状況に合わせ、適宜アセスメント評価を行う。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容を踏まえた上で、より具体的なかつ個別的な支援計画を作成するよう努めている。	引き続き、より具体的な支援内容が設定されるよう、定期的に検討を行う。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 (※11と重複)				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝行う朝の業務確認の場で、訪問に関する打ち合わせを行っている。適切な支援に繋がるよう、前回の訪問の振り返りも行っている。	今後も引き続き、職員間の情報共有と連携を密にして支援にあたるよう努める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日のうちに必要な情報は口頭で確認と振り返りを行っている。職員全体での情報共有は、引継ぎ及び報告書回覧で行っている。	現状を継続。担当した職員を中心に、今回の支援が次のより良い支援に繋がるよう、丁寧な振り返りを行う。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の支援、お考えを尊重した上で、実施可能な支援の組み立てを行っている。	引き続き、まずは訪問先の現状を尊重する事を心に留めながら支援を行う。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		訪問現場で行う直接支援とは別に訪問記録を作成。情報の共有と振り返り、共通理解を図るよう努めている。	引き続き現状を継続。

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低6か月毎に支援計画の計画の見直しを行っている。更新と同時にモニタリングも実施している。	定期のモニタリング外であっても、必要に応じて意向の聞き取りが行えるよう意識する。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り、状況をより理解し把握する者が参画するよう調整しているが、勤務体制上難しい場合がある。	より適した者が参画できるよう努めるが、難しい場合はそれに代わる者が現状をよく理解してその場に臨むよう努める。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	個々に必要性が起こった場合、積極的に情報共有を行うようにしている。	それぞれの関係機関と連携することの必要性を意識し、状況に合わせた体制がとれるよう努める。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	必要に応じて、依頼があれば積極的に情報の提供を行っている。	移行先へ事業所からの直接且つ積極的な情報の提供は行っていない。今後とも依頼に合わせ、必要に応じた対応を継続。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	法人内の内部研修に参加しているが、職員の体制上、積極的に外部の研修等に参加出来ていない。	より高い質を目指し、積極的に研修等へ参加できるよう検討する。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	可能な限り参加を予定しているが、職員の体制が整わず、参加できないことが多い。	積極的に参加できるよう、体制を整える努力を行う。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援計画更新前の面談を定期的に行っている。日々の状況については、連絡帳や送迎時にて共通理解を目指している。	引き続き現状を継続。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	研修プログラム等は行っていないが、各ご家庭の状況に合わせた助言や対応へのアドバイスをを行っている。	引き続き現状を継続。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		サービス利用開始の契約時に、書面と口頭にて説明を行っている。	引き続き現状を継続。再度説明を求められた際には、丁寧な説明を行うよう努める。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		定期的に状況に応じて説明を行うよう、心掛けている。	引き続き必要に応じて、より丁寧な説明ができるよう心掛けていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成前には、聞きとりのアンケート及び懇談を実施している。	今後も引き続きより丁寧な聞きとりや意向の確認を行っていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画更新時には、懇談などの時間を積極的に設け、保護者への説明を行った上で同意を頂くようにしている。	引き続き現状を継続。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		最善を尽くすよう努力を続けている。6か月毎、定期的に懇談の場を設けている。	引き続き現状を継続。定期外であっても、応じられるようにする。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現段階では、そのような場は設けてはいない。	当面はこのような活動を設定する予定はないが、今後必要性が出てきた際は、積極的に検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		積極的に受け入れ、可能な限り迅速に対応を行えるよう調整を行っている。	引き続き現状を継続。今後も相談等には積極的に対応するよう心掛ける。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年3回、活動の様子等を掲載した機関紙を発行。法人作成のHP内には概要などを掲載している。	今後もより積極的に発信し、周知に努める。
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類の作成や書面をお渡しする際、可能な限り複数人の職員で確認し、取り違い等が起こらないよう注意を払っている。	今後も取り扱いについては、法令順守の下慎重に行う。職員間でも周知徹底を行う。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		可能な限り、個々に応じた対応を行っている。	今後も現状を維持しながら、その時の状況と個々に合わせた対応を心掛ける。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		可能な限り応じることができるよう、体制等を整えた上で訪問にあたっている。	引き続き現状を維持。より丁寧な助言や支援を行えるよう、体制を整えるよう努力する。
訪問先施設への	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		○	定期的に場を設けたものは行っていない。支援対象児の個々の状況に合わせ、必要に応じて話し合いの場を設けるようにしてる。	引き続き現状を維持。今後も訪問の度に、より丁寧な情報提供や意見交換を行うよう努める。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問時の様子や実際に行った支援の内容を文章にまとめ、ご家族へお渡ししている。内容によっては、文書と合わせて、口頭の説明も行っている。	訪問先の様子は日々変化するものの為、内容の共有は一日も早く行えるようにする。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類の作成や書面をお渡しする際、可能な限り複数人の職員で確認し、取り違い等が起こらないよう注意を払っている。	今後も取り扱いについては、法令順守の下慎重に行う。職員間でも周知徹底を行う。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先の現状を踏まえた上で、より個別的に応じるよう、直接担当する職員は心掛けている。	今後もより一層心掛けておくべき点と思っている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各マニュアルを作成済み。職員間では事業所内会議や法人内会議等で、定期的に周知を図っている。法人内訓練に、可能な限り参加。	引き続き現状を維持しながら、定期的になマニュアルの更新や再検討等の場が設けられるよう努力する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	支援にあたっている職員が、法人内で実施される研修等に積極的に参加している。	引き続き、各個人が安全管理を意識しながら支援にあたる。今後も定期的に訓練や研修に参加し、必要に応じた措置を講じる様努める。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事象が起きた場合には、その都度共有している。内容によっては、定期実施の事業所会議にて話し合いを行っている。	引き続き現状を維持。状況に応じて事業所内に留まらず、法人内で共有する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内で定期的に実施される研修会には、可能な限り全職員が参加するようにしている。	引き続き現状を維持。今後も虐待防止に関する通達等から情報を収集し、必要に応じて対策と対応を検討する。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		訪問支援の中で身体拘束を行った事例はないが、必要性が起る場合には左記の設問のような対応を行う。	引き続き現状を維持。支援計画に記載及び、同意書を作成する。